

篠崎信男：シンポジウム『老年者の性機能』のうち「人口問題的方面」（日本老年医学会総会，11月1日）

小林和正：日本先史時代人の寿命——出土人骨による推定中間報告——（日本老年社会科学会研究発表 No. 7, 10月31日）

（小林和正記）

エカフエ人口情報センターの発足

1965年5月，1963年12月開催の国連アジア人口会議の勧告に基づいて，国連アジアおよび極東経済委員会（エカフエ）事務局社会部に，人口情報センター（Clearing House of Demographic Information）が発足し，国連地域人口専門官，チャールズ L. ベルツ氏（Mr. Charles L. Beltz, Regional Demographic Expert）がこれを担当することとなり，1965年10月13日から同月20日まで日本を来訪し，人口問題調査研究機関，人口統計作成機関その他関連機関を歴訪し，その協力方を依頼した。

（館 総記）

昭和40年国勢調査の結果（概数）

昭和40年10月1日に実施された第10回国勢調査による全国，都道府県，市区町村の世帯および人口概数が同年12月1日，総理府統計局より発表されたので，各回国勢調査による全国人口の推移および都道府県別ならびに7大都市に関する結果表をここに載録する。今回速報された世帯および人口の概数は，各都道府県および市町村で作成の要計表から算出された結果であり，したがって個々の調査票に基づいて集計され，昭和41年5月までに官報で公表される予定の市区町村別人口（確定数）とは，必ずしも一致しない。

（資料は，総理府統計局「昭和40年国勢調査全国都道府県市区町村別世帯および人口概数」昭40.12刊）

表 1 各回国勢調査による全国総人口，増加人口，人口密度，性比および平均世帯人員

調査年次	総人口	増加数	増加率（％）		人口密度 （1 km ² 当たり）	性比 （女100に つき男）	平均世帯 人員 （1世帯 当たり）
			調査間	年平均			
大正 9	55,391,481	3,787,719	6.8	1.33	146	100.5	4.99
14	59,179,200				156	101.1	4.98
昭和 5	63,872,496	4,693,296	7.9	1.54	168	101.1	5.08
10	68,661,654	4,789,158	7.5	1.46	181	100.7	5.13
15 ¹⁾	72,539,729	3,878,075	5.6	1.10	191	100.1	5.10
22	78,101,473	5,561,744	7.7	1.03	212	95.4	4.92
25	83,199,637	5,098,164	6.5	2.13	226	96.3	5.02
30	89,275,529	6,075,892	7.3	1.42	242	96.6	4.97
35	93,418,501	4,142,972	4.6	0.91	253	96.5	4.52
40 ²⁾	98,281,955	4,863,454	5.2	1.02	266	96.6	4.08

昭和15年以前は旧沖繩県を除く。年平均人口増加率は， $(\sqrt[n]{P_1/P_0} - 1) \times 100$ によって算出。

1) 全人口（外地にある軍人・軍属を含む）。2) 概数。